



today's guest : ジェフ千葉 2011 J2 16勝 10分 12敗 勝ち点 58 第6位

1965年の第1回・日本サッカーリーグ(JSL)に参戦(3位、優勝は東洋工業=現:サンフレッチェ広島)した古豪。以後、2009年にJ1で最下位となるまで45年もの間トップリーグでのプレーを続けた。JSL時代にリーグ優勝2回、天皇杯優勝3回、JSLカップ優勝3回。1986-87シーズンではアジアクラブ選手権を制し、日本で初めて『アジア1』となる。Jリーグ加盟後もナビスコカップ優勝2回。J1で最下位となった2009年は天皇杯でFC岐阜と対戦、岐阜が1-0で勝利(FC岐阜が公式戦で初めてJ1勢に勝った)。2010年からJ2。(吉田鑄造)

3日前のホーム岡山戦で悔しい敗戦を喫したFC岐阜。岐阜が敗戦した一方で、下位にいた鳥取と町田が勝利したために順位を2つ落として、いわゆる「JFL降格圏」の2位にまで後退してしまった。しかし、ここで試合の結果を悔やんでいる余裕はない。次の試合、つまり今節は今季数少ない平日ナイター。わずか3日でやってきてしまうのだ。すぐに気持ちを切り替え、次の試合に向けて準備をすることが必要だ。それに、順位が落ちたとはいえ、19位の鳥取との勝ち点差は2。すぐに追いついておくためには、この試合の結果が本当に重要になってくる。

さて、その今節の相手はジェフユナイテッド千葉。現在は7位と若干低迷しているが、Jリーグ開幕から在籍している“オリジナル10”の実力あるクラブだ。しかし、何故か対戦成績は(2009年天皇杯の熊谷での勝利を含めると)3勝3敗と相性が良く、今季も6/2(土)のアウェイ戦で勝利している。このホーム戦でも勝利して、8試合未勝利の悪い流れを断ち切りたいところだが、当然ながらそう簡単に勝てる相手ではない。前回ホーム(フクアリ)での敗戦のリベンジに燃えているだろうし、ましてや千葉は、前々節は町田に、前節は鳥取に破れており、3連敗はできないと必死になっているだろう。しかし、必死にならなければならないのは岐阜も同じだ。まずは、岐阜は守備の再構築が求められるだろう。ここ数試合、単純な連携ミスから、みすみす相手に得点を許してしまう場面が目立つ。また、DF陣がクリアしてもセカンドボールをなかなか拾えず、守備に回る時間が多いのも失点してしまう要因だろう。攻撃については、2試合連続で得点できているのは明るい要素だが、迫力のある攻撃が出来ているとはいえない。総得点17は、今季のJ2では最少だ。補強した#32FWアブタや#35FWダニロと、これまでの選手との連携を深め、得点力の向上に期待したいところだ。シーズン終盤かつ中2日というコンディション回復もままならない状況では、個の技術やチームの戦術もさることながら、どちらのチームがよりひたむきに走り、より勝利に貪欲になるかといった、メンタル面が一層重要になる試合だ。(ささたく)

2012J2 順位表 第29節
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	甲府	57p	+19	42	23	H	A
2	京都	55p	+13	43	30	H	
3	東京V	53p	+20	50	30	A	
4	湘南	53p	+17	47	30	A	
5	大分	51p	+14	43	29	H	A
6	山形	52p	+11	41	29	A	
7	千葉	50p	+21	41	20	A	
8	横浜FC	47p	+11	43	32	H	
9	栃木	46p	+5	34	29	A	
10	岡山	45p	+2	26	24	A	H
11	水戸	40p	+1	32	31	H	
12	北九州	39p	-2	33	35	H	
13	徳島	37p	-3	28	31	A	
14	松本	37p	-5	25	30	H	
15	愛媛	31p	+1	36	35	H	
16	福岡	33p	-7	38	45	A	H
17	草津	33p	-7	22	29	H	A
18	熊本	33p	-11	24	35	A	H
19	鳥取	23p	-36	23	59	H	A
20	町田	21p	-22	20	42	H	
21	岐阜	21p	-25	17	42	==	==
22	富山	19p	-18	23	41	A	H



本庄工業株式会社
<http://www.honj-woodream.com/>



何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:日曜日(今日は営業しています)

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998

FC岐阜サポによる
ゲリラ的Ustream配信番組

<http://www.ustream.tv/channel/sstak12-fcgifu>
次回は9/1(土) 21:00開始の予定です。

『岐大通』バックナンバー
<http://www.cyic.co.uk/fcgifu/gidaidohri.html>

次回 HomeGame

第32節 東京ヴェルディ戦
9/2(日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

投稿募集! gidaidohr@hotmail.co.jp

【第2節】岐阜1-2岡山

やはりメドウは、スタンドとピッチとの距離が近くて迫力があるなあ…。鳴り物禁止だったり（だから選手の声なんか良く聞こえるんだけど）、観客が3000人しか入らなかったりするの難点だけど、それでも、やっぱり年に1回ぐらいは、ここメドウで開催して欲しいなあ…なんて思ったりする「メドウ開幕戦」。

試合開始直後は、岐阜が積極的にボールを支配してシュートを狙っていたと思う。でも、すぐに岡山に修正されて、選手間隙を突かれたり、セカンドボールが拾えなくなってしまい、やや押し気味の試合展開。それでも、決定的な場面は殆ど作らせず（その分ウチも作れなかったけど）、このまま前半終了かな…と思った前半ロスタイム。ハンジェが浮き球の下に入って、（僕は反転するかと思ったんだけど）ヘディングでバックパス。しかし、そのパスは相手FW#20川又がいる位置、しかもDFの頭上を越えるボール。一気に抜け出した川又に決められてしまい、呆然としつつ前半終了。あのミスはキツイなあ…（溜息）。

後半も、試合の流れはやや岡山ペース。うーん…なでしこがW杯で優勝して、その影響を受けてるのかもしれないけど、どうも「後ろで回しすぎる」傾向が気になる。もちろん、無理せずボールを回すこと「そのもの」は悪くはない。けれど、安易にバックパスに頼り、ボールを貰ったらまずは前を向こうとする意識、または前にボールを運ぼうとする意識が不足している気がする。守備から攻撃への切り替えが遅く、相手にブロックを作られてしまし、強引にシュートを狙ってもいい場面でもパスを選択して、結局はサイドで囲まれてボールを奪われる場面も気になった。「他人任せになっている」という表現でも良いかもしれない。逆に言えば、#7MF地主園のゴールは、きちんと狙う場面でも足を振り抜いた結果。相手DFに当たって軌道が変わったラッキーもあったけど、それもシュートを撃たなければ起きないこと。これでゾノは2試合連続ゴール、チームも勢いに乗って逆転を…と思ってたんだけど、残念ながら勢いは出てこず（溜息）、10分後には岡山に突き放される。これも川又が斜めに走ってDFラインの裏に抜けて決めたゴール。完全に崩されたDF陣は反省して欲しいが、FW陣にも見習って欲しいような崩し方だったと感じた。

交代のカードを切って攻撃を活性化させようとしたけれど、不発に終わり、試合終了。記録ではシュートを6本撃ったらしいが、僕はほとんど記憶になかった。ゾノの得点シーンは鮮明に残っていたが、それ以外に決定的なシーンで「惜しいいい！」と仰け反った記憶もなかった。選手たちが頑張っていないとは思わないが、しかし、「必死に点を獲るんだ」「最後まで走り抜くんだ」「絶対に勝つんだ」という気持ちや姿勢が僕に伝わってきたかということ、それは疑問だと言わざるを得ない内容だった。

試合後、服部選手が「みんなの危機感が足りない」とコメントしていた。もちろん選手たちを発奮させるためだと思うが、ホントに危機感を持って1試合1試合を真剣に戦って欲しい。その気持ちがあれば、おのずと結果はついてくるはずだ。（ささたく）

川又に当てて裏を狙うという戦術を徹底した岡山と、どういうサッカーがやりたかったのか90分通して見えてこなかった岐阜との差が出たかと。

前半から押し気味の展開で地主園が引き気味になって、5バックに見えたことがあったりもした。そんな中でも凌いで、後半を迎えられるかなと思った矢先の痛恨のバックパス……あれは川又が狙ってきてるのがミエミエだったから、一番やってはいけないプレーだったのに……。その後は先制した相手はウチに対して取る同じパターンに対して選手交代も効果なく対策も取れないままという同じような負け方をしてしまった…。

染矢が累積で出停だったのは確かに痛いけど、ピッチにいても空気のような存在の選手やプレーが軽い選手など多々いては勝てるものも勝てなくなってしまいます。試合後の服部のコメントにあるように、本当に選手、スタッフ全体が危機感というものを持っているのか、なんとしても勝つという強い気持ちを持っているのか？これからの一戦一戦本当にそういった部分が重要になってくる。それが見られないのでは厳しい現実が待ち受けていると言わざるを得ない。非常にダメージの残る負け方をしてしまったが、休む間もなく今日は千葉戦。下を向いている暇などない。90分間最後までガムシャラにひたむきに戦って戦って戦い抜いてくれ！（岐阜の誇り）

前節は試合終了間際までほんのわずか、後1分をしのぎ切ることができなかった。そして、この試合。前半終了間際に失点後センターサークルに戻されたボールを一回動かした時点でタイムアップ。つまり、あと1分どころか、たった30秒程度ボールをキープしていれば何の問題もなかったワケだ。あの場面。わざわざヘディングでボールを返さなくとも、足元でコントロールして横なり後ろなりへパスを出すだけで前半終了の笛は鳴らされていたはず。前線に相手FWが残っていたのも見えていた、それくらいの余裕はあったと思うのだが……。ハンジェらしからぬ余りにも軽率なプレーだったと言わざるを得ない。前節の痛恨のミスは光だった。ベテランである二人が立て続けにありえないミスをしては、とうてい勝利にはおぼつかないだろう。アレを決められたらどうしようもないというミドルシュートとか息を呑むようなパスワークでゴールを奪われたならまだ納得がいくのだけれど……。

キックオフ直後から攻勢に出て惜しいシュートもあった。その後岡山に立て直されてガマンの時間がしばらく続く。リードして後半を迎えるのがベストだけど、試合内容からはスコアレスのイーブンで問題ない。きっちり0-0でクローズしなければならぬ場面だった。

それでも、後半開始から攻めの姿勢を示してくれたし、勝利への執念も見せてくれて、それが地主園の同点ゴールにつながったと思う。ああいう思い切ったシュートがもっともっと見たい。積極果敢にゴールを狙ってもらいたい。誰かの体に当たってコースが変わるなんてのはいくらでもあること。不規則だからこそ相手のGKやDFの逆を衝くことにもなる。ゾノのゴールもシュートを撃ったから決まったワケで、ボールを持った全員がシュートを撃つ。ゴールを決める意識を持ってほしい。シュートが枠を外れても（外れてほしくはないが）、ゴールキックから生まれれば、その間に陣形は整えられるし、逆に相手DF陣にプレッシャーを掛けられる。そんなことはプロの選手なんだから、ボクなんぞが言うまでもなくわかってるんだろうけど、時折そういった勝利への執念とか貪欲さが見えない時がある。くどいようだが、前節の失点にしてもこの試合の先制された場面にしても、相手のプレッシャーをかけられ続けたゆえのミスなのかもしれない。岡山のFW・川又はずっと狙っていたし、ほかの選手も川又の一発に賭けていた節がある。今後はウチがそれをやってほしいし、やり返してほしい（相手は違うけど）。

今節の敗戦で順位が落ち、再び降格圏内に突入した。残り1試合。もう、なのか？まだ、なのか？唯一下位にいる富山との試合はもうない。今後は全部が上位のクラブ。厳しい試合が続くことはわかっているが、それでもどの試合でも勝ち点を失うワケにはいかない。試合後の挨拶の時にコールリーダーが檄を飛ばしたように「下を向いているヒマはない！」。とにかく、次の試合も全力で勝利を奪いに行く！それを支え、勇気づけるサポートをしていきたい。（ぐん、）